

2015. 7-29

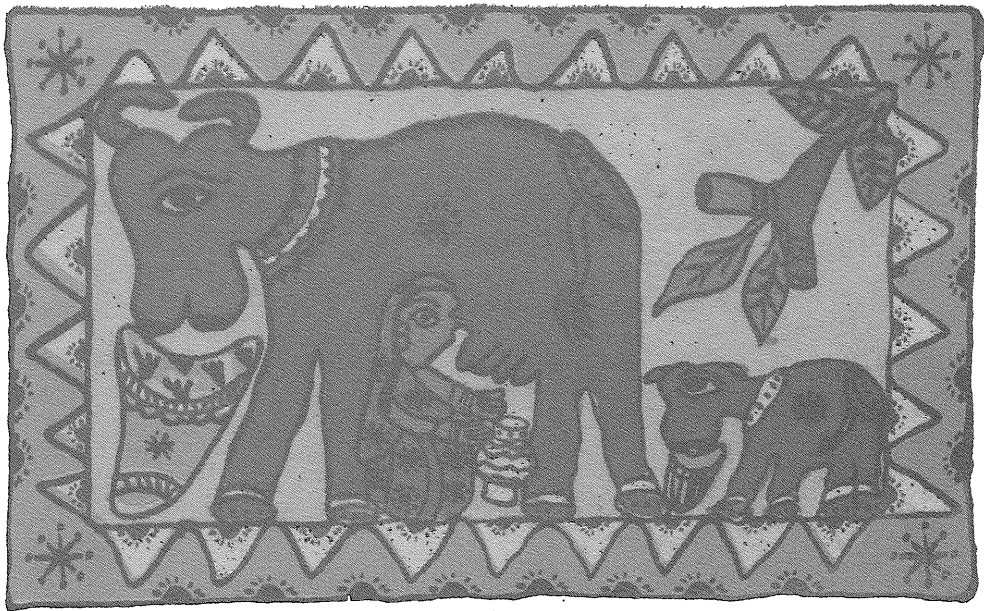
X-4 筑大図
受

ISSN 0915-7468

比較民俗研究

for FOLKLORE STUDIES of ASIA

29



2015/3 比較民俗研究会

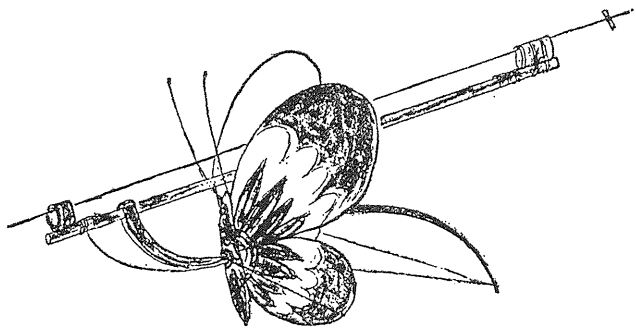
■宮良當壯（1893-1964）の比較民俗観抄

我が大和民族は朝鮮半島より九州に渡り、これにより其の大半は東北方に進路を取り、少数は南海に浮んで薩南奄美群島及び琉球諸島に定住したということである。而して九州以北の地方に於ては支那との交通絶えずして儒仏二教を初め、あらゆる文物を輸入して咀嚼し、同化し、従って漸く旧態を改むるに至ったが、南東に於ては、久しく絶海に孤立して環境より影響を受くること甚だ稀に、文化の進歩を余り見なかつた半面に於て、先に手を別けた当時の面影を失ふことが尠なかつたのである。そして明治の初めに是等南大和民族は北大和民族に再び邂逅して其の燦爛たる文明の成果に刮目して驚き、之が吸収に忙殺せられて殆んど自己を顧みるの暇がなかつた。又一般国民としても海の彼方を夢みる者が多くして、我が国内に埋る宝を掘り出す者が少なかつた。

（「南島方言より観たる本邦古代の風習」『三田評論』320 1924 全集13卷所収）

奄美大島の地名や琉球の開闢神話及び寄居虫等の名に見られる海人部の名が、どうして沖縄の地名に認められないことがあるか。殊に古来琉球全島の漁業権を掌握してイトウマンの名を漁夫の意味にまで用ゐさせるに至った此部民の名に、アマミと云ふ分子の含まれてゐることは何の不思議もないことである。そこで私は糸満人を海人部の遺孽であると断言したいのである。

（「糸満名義考」『史学』7-3 1928 全集13卷所収）



八重山の胡蝶猿（方言：シャクシメー・尺締）、宮良當壯「たこ風土記」全集13 571頁より

目 次

第 29 号

巻頭言

- 一石三鳥の比較民俗研究 賈蕙萱 (1)

論文

現代化における伝統的家族制度の変化

- 一山東省の旧暦10月1日の「鬼節」の祖先祭祀を事例に一 王新艷 (5)
- 宗教・文化と功利主義：郷土廟会の学界展望 岳永逸 (17)
- 濟州島のシングッ：《ボセカムサン》におけるシンバンの語り
- 一2011年、城邑里の鄭公鐵シンバンのシングッより一 古谷野洋子 (35)
- 過山系ヤオ族(ミエン)儀礼文献における神々の記述
- 一 請聖書・賞光書に記された神々に関する歌を中心に一 譚 静 (58)
- 徽州婚姻に表れた贈答関係一中国・徽州『夫榮子貴』の分析から一 馬 路 (97)
- トルコ共和国における文化形成と民俗音楽のステージ化
- 一民俗音楽楽団ユルッタン・セスレル・コロスを例に一 鈴木麻菜美 (117)

———— 特集 1：地域振興と民俗学 ————

地域活性化事業の推進と祭祀儀礼の変化

- 一茨城県行方市麻生町天王崎「馬出し祭り」を例として一 姚 琼 (147)
- 駅前商店街の今と昔
- 一二つの商店街のフィールドワークを中心に一 陳 競 (176)

研究・フィールドノート

———— 特集 2：ブラジル移民研究 ————

- 日本常民文化研究所における南米日系人研究への試み 泉水 英計 (191)
- 天南現出日本村——ブラジル国サンパウロ州レジストロ植民地の形成過程と
- 松村栄治関係資料「戸籍簿」 泉水 英計 (194)
- ブラジル移民史と長野県一レジストロ移民地調査から一 森 武麿 (209)

- 居住空間からみたベトナムのオンタオ(竈神)祭祀一ホイアンの事例報告一 鍋田 尚子 (217)

龍の目—資料と通信—

- 「世界の食文化研究と博物館」国際シンポジウム 李徳雨 (229)

書評

金廣植著『植民地期における日本語朝鮮説話集の研究

- 一帝国日本の「学知」と朝鮮民俗学」 金泰順 (231)

『比較民俗研究』執筆要項

1. 寄稿者は比較民俗研究に関心を持つものならば資格を問いません。
2. 「比較民俗研究」の原稿の内容、枚数(400字詰、写真・図・表を含む)は以下の通りとします。なお、原稿枚数が超過すると見込まれる場合は、事前に編集委員会に御相談ください。

論文	100枚以下とします。
調査報告	論文に順じます。
研究ノート	50枚以下とします。
書評	30枚以下とします。

"龍の眼" - 資料と通信 - ハガキでの投稿など形式・枚数は問いません
3. 原稿は、A4版横書400字詰原稿用紙を用いて日本語で執筆してください
4. ワード・プロセッサ、パーソナル・コンピューターで原稿を作成される場合は、B5版用紙を使い、42字詰め35行の設定で印字してください。

また、図版を掲載される方は、データの入ったCD・DVDもしくは、USBメモリもご提出ください。
5. 原稿表紙には、論文題名及びその英訳、執筆者氏名とそのローマ字綴り、所属を記名してください。
6. 漢字は新字体としますが、常用漢字表には拘束されません。仮名遣は原則として新仮名遣いとします。

簡体字・繁体字はできる限りはじめから常用漢字で表記してください。
7. 外国の固有名詞は片仮名で書き、初出の個所は括弧内に欧字で記してください。

欧文人名の姓は、本文、註、文献ともすべてスモールキャピタルで表記してください。
- 例
トインビー (A.J. TOYNBEE)
ただし、極めて一般的な場合は必要ありません。
8. 註は、本文右肩に¹⁾の番号を付し、文末に一括してください。
9. 引用・参考文献は、本文または註の文中に()に入れて、著者姓、刊行年(西暦で表記): 該当頁数を記してください。同じ著者で同一年に複数の文献がある場合には、刊行年の後にa,b,c…を付してください。

例
…の例がみられる(WHEELER 1954:p21~22)。と指摘していることが注目される(柳田 1925 b:p4)。
10. 文献目録は最末尾に一括し、以下の原則により作成してください。ただし、必要以上原則により難しい場合は、理由を明示してください。
 - (1) 配列は著者姓のアルファベット順としますが、洋書と和漢書の数が共に多い場合は、別々にまとめてください。
 - (2) 記載の順は、著者姓・名(欧文人名の場合は頭文字でも可)、刊行年、論文表題、誌名、巻、号、雑誌論文掲載頁、出版地、出版社(発行者)としてください。
11. 原稿締切り日は、11月末日とします。
12. 次回のテーマは30号記念特集として、『比較民俗研究の課題と方法』『海民・海域史

と民俗』『国際民具研究の可能性』を予定
しています。

(テーマに沿った内容でなくても投稿
可能です)

13. 原稿送付先は、
〒 221-8686

神奈川県横浜市神奈川区六角橋 3-27-1
神奈川大学大学院歴史民俗資料科学研究科
佐野研究室 宛

TEL (945) 481-5661 FAX(045) 413-4151

E-mail sanok010@kanagawa-u.ac.jp

■比較民俗研究会の記録

- ・ 第 123 回 (2014 年 4 月 18 日)
発表者 清水邦彦 (金沢大学)
題目 「日本地蔵信仰史・概観 - 比較民俗
的視点を入れつつ
- ・ 第 124 回 (2014 年 7 月 25 日)
発表者 李承澤 (早稲田大学スポーツ科
学研究科博士課程)
題目 「闘犬の日韓文化比較」
- ・ 第 125 回 (2014 年 10 月 1 日)
発表者 横井雅子 (国立音楽大学)
題目 「中・東欧のロマ音楽研究とその問
題点」
- ・ 第 126 回 (2014 年 10 月 17 日)
発表者 阮蘇蘭 (ヴェトナム社会科学院
研究員)
題目 「ベトナム伝統年中行事の中の民間
芸能」
- ・ 第 127 回 (2014 年 11 月 21 日)
発表者① 劉潤 (国立音楽大学)
題目 「『理想国』のポピュラー音楽
- 旧満洲国のラジオ放送における
流行歌 -」
発表者② 鈴木麻菜美 (国立音楽大学)
題目 「近現代のトルコにおける民俗音楽
の展開
- TRT の民俗音楽楽団ユルッタ
ン・セスレル・コロスを例に -」

「比較民俗研究」投稿・入手連絡先

次の箇所を連絡先とします。

日 本 〒 221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学大学院 歴史民俗資料学研究所 佐野研究室
TEL.045-481-5661(内線4022) FAX.045-413-4151

韓 国 156-756 大韓民国 ソウル特別市銅雀区黒石洞221
中央大学校大学院民俗学科 任 章赫研究室
TEL.02-820-5233

中 国 10008 中華人民共和国 北京市海淀区中関村南大街27号
中国社会科学院民族学人類学研究所 色音研究室
s.hu981@gmail.com

台 湾 106 台湾台北市和平東路一段162号
台湾師範大学台湾史研究所 蔡 錦堂研究室
TEL. 02-7734-1481 tsainlin@seed.net.tw

ブラジル 05508-900 AV.Prof. Lineu Prestes 159, Cidade Brasil
サンパウロ大学 日本文化研究所 森幸一研究室
TEL.55(11)3091-2426. kmori@usp.br

編 集 後 記

昨年の暮れ、犬の散歩中に落ち葉に足を滑らせ転倒、鎖骨骨折の身となった。老化現象と嘆いても仕方がない、転んでもただでは起きぬ。辞書で骨折を調べると、文字通りの「骨を折る」から、「骨を惜しむ」「骨に沁みる」「骨に刻む」「骨を休める」「骨を抜く」と骨に由来する慣用句が多いことに驚いた。モンゴル族は父の骨と母の肉で人は作られているというが、アルタイ語系諸族の間では骨の語をもって父系氏族をあらわすことが知られている。日本の古語でも骨はカバネともいわれ新羅の「骨品制」や大和朝廷の氏姓制度との関係も指摘され、また火葬骨の扱いや現在も続く遺骨収集事業に日本人の伝統的遺骨尊重・慰霊信仰の表れを認める研究者もいる。いずれにせよ、身体に由来する表現、身体技法や表象から民族性・民俗性の異同を探るのも比較民俗研究の大きな課題ではないかと痛みをこらえながら改めて思った次第である。(K.S.)

『比較民俗研究』 第 29 号

2015 年 3 月 31 日発行

編集発行 比較民俗研究会
神奈川大学大学院 歴史民俗資料学研究所 佐野研究室
〒 221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL(045)481-5661(内線4022) FAX(045)413-4151
E-mail : sanok010@kanagawa-u.ac.jp

印刷所 朝日印刷株式会社

COMPARATIVE FOLKLORE STUDIES

NO.29 March, 2015

Preface

Comparative Folklore Studies as “Killing Three Birds With One Stone”JIA Huixuan (1)

Articles

Relationship Between Social System and Family Values in Modern China

—Case study of the Guijie (Ghost Festival) ancestor worship in Shandong on lunar October 1st
..... WANG Xinyan (5)

Religion, Culture and Utilitarianism: The Academic View of Rural Temple Festivals in China
..... YUE Yongyi (17)

Spoken Word of the Simbang in “Bosaegamsang” in the Sin-gut of Jeju-do
—From the Shin-gut of Jeong Gongcheol in Seongeup-ri in 2011 KOYANO Yoko (35)

Recording the Gods in Guoshan Yao People (Mien) Ritual Documents:
Focusing on songs related to gods in Qingshengshu and Shangguangshu..... TAN Jing (58)

Gift-giving Relationships as seen in Huizhou Weddings: Analysis of “Furongzigui”..... MA Lu (97)

Cultural Formation of the Republic of Turkey and The Stagification of Folk Music:
The case of the Yurttan Sesler Korosu folk music ensemble SUZUKI Manami (117)

Special Edition 1 : Regional Revitalization and Folklore

Promotion of Regional Revitalization and Change in Religious Rituals

—Case Study of the Umadashi Matsuri festival in Tennozaki, Aso-machi, Namegata-shi, Ibaraki
..... YAO Qiong (147)

Shopping Districts Around Train Stations, Now and Then:
Focusing on fieldwork on two shopping districts CHEN Jing (176)

Research and Field Notes

Special Edition 2 : Research into Immigration to Brazil

The Institute for the Study of Japanese Folk Culture Initiative towards Research into
South American Nikkei People SENSUI Hidekazu (191)

Japan Village under the Southern Sky: The Formation of Registro Colony, Sao Paulo, Brazil,
and Its “Family Register Records”..... SENSUI Hidekazu (194)

Nagano Prefecture and Brazilian Immigration History: Registro Immigrant History Study
..... MORI Takemaro (209)

Ong Tao Worship in Vietnam from the Perspective of Living Spaces: The case study of Hoi An
..... NABETA Naoko (217)

The Eye of the Dragon: Resources and Memoranda

“World Food Culture Research and Museums” International SymposiumLEE Docwoo (229)

Book Reviews

Kim Hwangsik “Japanese Language Collection of Korean Narratives in the Colonial Period:
Academic Knowledge in Imperial Japan and Korean Folklore”KIM Taesoon (231)

Cover: Nepalese Folk Painting “Milking”

Edited and Published by

COMPARATIVE FOLKLORE SOCIETY

Institute of History & Folklore Studies

Kanagawa University

Yokohama-Shi, Kanagawa-Ken, Japan 〒 221-8686

Tel. 045-481-5661 Fax. 045-413-4151